

多文化共生社会をめざして

あおもり 国際交流つうしん

AOMORI INTERNATIONAL EXCHANGE JOURNAL

2025.9
NO.
157



黒石よされの流し踊りに参加する青森中央学院大学の留学生（黒石市）

CONTENTS

- 1 シリーズ：青森で働く（AISグループ協同組合）
- 2 青森県内の在留外国人統計（2024年12月末時点）
- 3 取組報告
- 4 お知らせ
- 5 外国人相談窓口 ／ 世界で異なる文化・習慣
- 6 JICA特集 青森から世界へ

青森で働く

私の故郷はベトナムのゲアン省です。自然が豊かで台風がとて多いところです。学生の頃、日本語を話せるを見て「かっこいい、自分もあになりたい」と思いました。高校を卒業した後、日本に来て、東京の日本語学校に通い、専門学校にも行きました。就職を探している時にこの会社の求人を見つけたんです。いろんな場所に行ってみたかったので、青森で働きたいと思って応募しました。青森はあまり暑くないし、人がとても優しくて丁寧に話してくれます。だけど、雪と津軽弁には困りました。雪のせいでバスが遅れて遅刻したこともあります。なので冬はあまりバスを使いません。

ベトナムの家族は最初は寂しいと言っていましたが、今は応援してくれています。連絡は毎日ではないけれどテレビ電話で話します。お互いに顔を見ると安心します。それに1～2年に1回は仕事でベトナムへ行くことがあります。その時に家族と会えますし、社長とも話をしたことがあります。だから家族も安心しています。

会社では、技能実習計画を作ったり、在留資格の更新で入管に行ったりします。実習生の困り事を聞いて、アドバイスしたり、通訳もします。あちこちの会社に技能実習生を出しているので、大変な時もあります。それでも楽しく働くことができます。人を手伝える事ができていますから。自分の国の人が困っている時に、代わりに伝える事で、自分が経験した大変な思いをしなくても済むように手助けしています。

代表理事 遠藤 淳矢さん

母体は株式会社竜巳建設工業です。最初は技能実習生を他の監理団体から派遣してもらっていましたが、ラムさんを採用して、自社でAISグループ協同組合を立ち上げました。実習生の入国後講習や、他の受け入れ企業との調整など、組合の仕事はほとんどラムさんが行っています。監理責任者の資格も取得したりと本当に優秀です。

AISグループ協同組合
(青森市)

グエン ティ ラムさん

ベトナム出身

2022年10月から勤務



技能実習計画を手渡すラムさん



事務所でデスクワークの様子

日本語の勉強は今もしています。映画の日本語の字幕を見て覚えたりしますが、一番は人と会話することで覚えます。恥ずかしがらないで、どんどんしゃべることが大事です。日本語教室があればぜひ通いたいと思っています。お客さんと話をする機会が多いので、ビジネス会話を学べたらいいなと思います。丁寧語や敬語はとても難しいです。7月の日本語能力試験を受けて、今は結果を待っています。「N1」をとるまで頑張ります。

私はこのAISグループ協同組合をもっと大きくして、もっとたくさんの外国人を受け入れて、たくさんの人の手助けができればいいなと思います。そして、できればずっと日本で暮らしたいと思っています。

組合を立ち上げてからはまだ1年半ほどですが、準備段階からいろいろと動いてもらいました。最近では他社からの実習生派遣の要請も増えて来て、それに伴いラムさんの負担も大きくなりつつあります。プライベートな面ではありますが、ラムさんには食事や体調にも気を付けてほしいと思っていますし、将来的な幸せについても心から願っています。

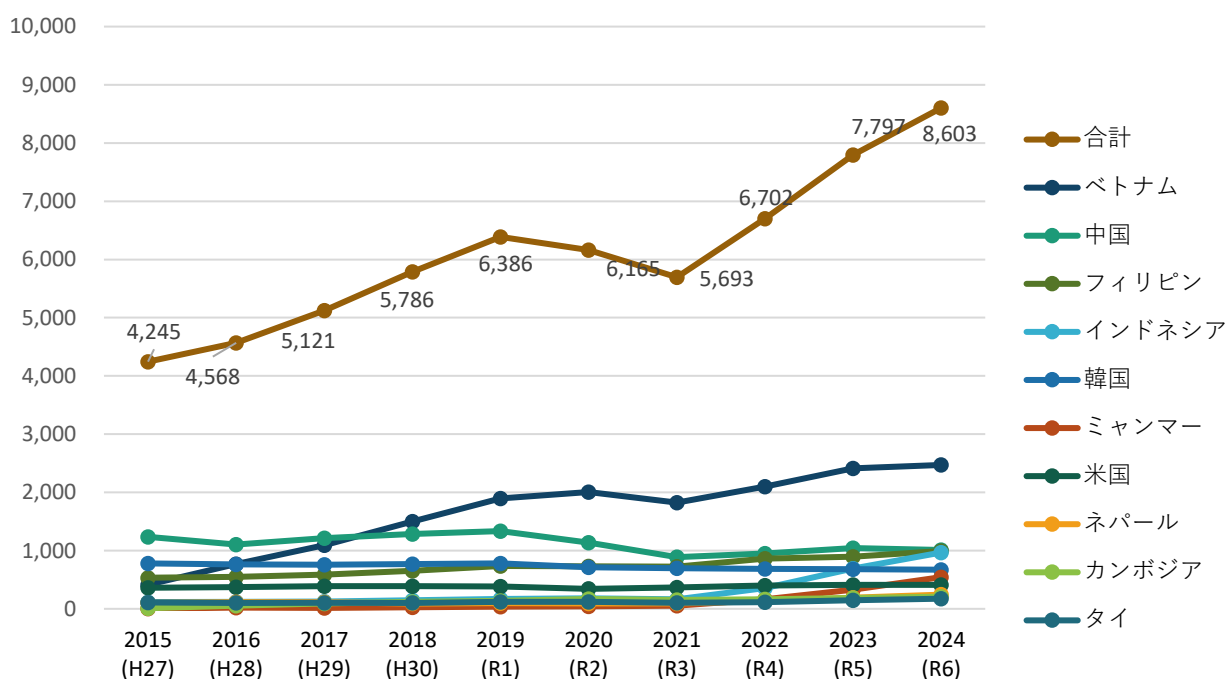
全国の在留外国人数は、2024(令和6)年末現在で376万8,977人となり、前年末（341万992人）に比べ、35万7,985人（10.5%）増加し、過去最高を更新しました。

青森県内の在留外国人数は、2024(令和6)年末現在で8,603人となり、前年末（7,797人）から806人（10.3%）増加し、過去最高を更新しました。

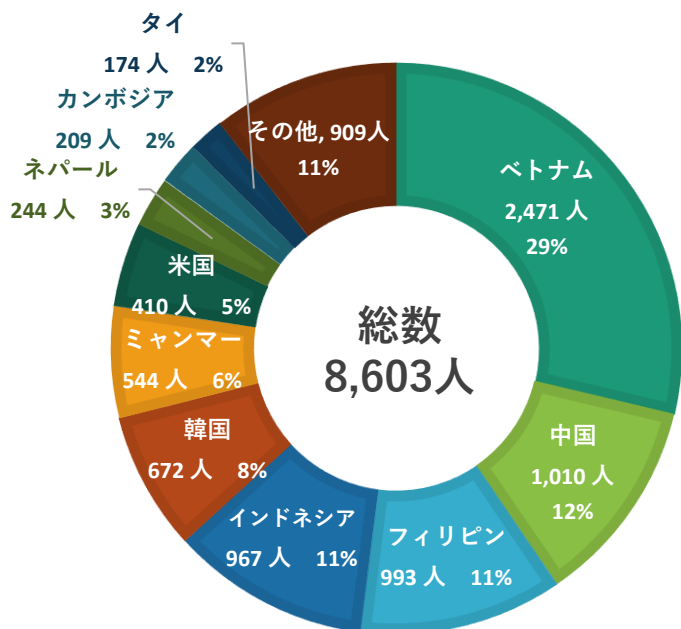
市町村別在留外国人の状況などの詳細については、当機構国際交流グループのホームページをご覧ください。

（データ出典：出入国在留管理庁 在留外国人統計）

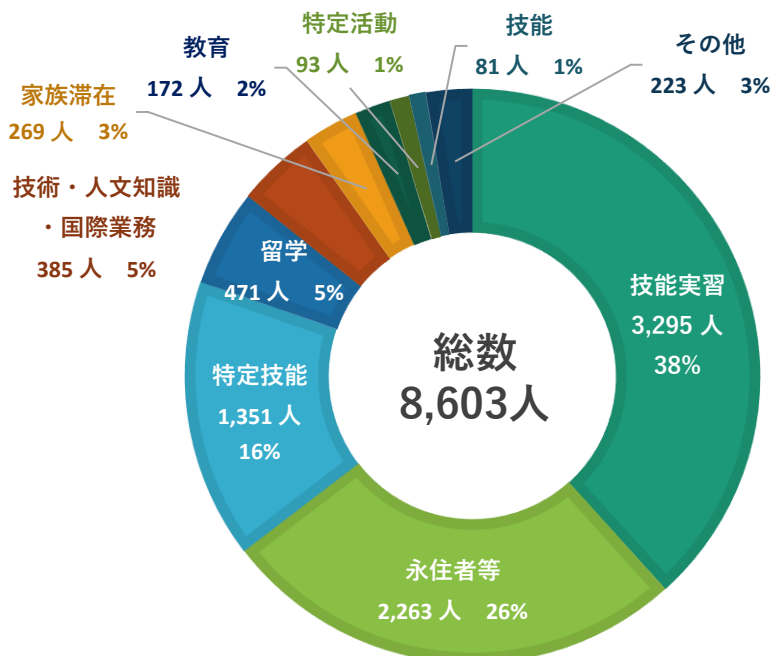
青森県の在留外国人数の推移（国籍・地域別、在留資格別）



青森県の在留外国人数（国籍・地域別）



青森県の在留外国人数（在留資格別）



第4回消防職員初任者総合教育

6/12(木)

「県内在留外国人の現況」をテーマにした青森県消防学校の研修に、当機構の国際交流グループが参加しました。

県CIR(国際交流員)の協力のもと、日本語が話せない外国人から通報があった場合を想定して、携帯電話の翻訳アプリを使ったロールプレイングなどでコミュニケーションスキルについても体験してもらいました。



青森県消防学校での研修の様子

日本語パートナー養成講座 十和田市

7/12(土).13(日)

7/12(土)・7/13(日)の2日間、十和田市で2回目となる「日本語パートナー養成講座」を開催しました。市内や近隣市町村の住民が参加し、やさしい日本語を学んだり、インドネシアの講師からインドネシア語を学ぶという初めての体験もしました。お互いの背景や環境を尊重しながら「つながり」を持つ大切さを知ること、十和田市の多文化共生の推進に結び付けていくことを願います。



手作りのピクトグラムについて発表する様子

日本語指導サポーター養成講座

7/26(土)

約2か月にわたって青森大学で開催した「日本語指導サポーター養成講座」が7/26(土)で終了となりました。「外国人を取り巻く現状を多方面から学ぶ事ができた」「交流の機会があれば実践したい」との声が聞かれました。今回は18名の受講者が日本語指導サポーターとして登録され、今後、各地域の交流型日本語教室等で、学習支援者として活躍することが期待されます。



受講生が生徒役と講師役に分かれて行う模擬授業の様子

国際理解講座「世界をのぞいてみよう～フィリピン・オセアニア（大洋州）」 8/23(土)

8/23(土)、アスパム6階「八甲田」で、今年度1回目となる国際理解講座を開催しました。各講師は、写真や動画などを使い、人々の生活や文化、歴史や課題についても触れ、参加者の関心を引く内容となりました。「フィリピンに親近感を持った」「バンジージャンプの映像が衝撃的だった」などの感想が寄せられました。



オセアニア（大洋州）について話す千葉講師

令和7年度 第1回 日本語パートナー養成講座（全2日間）

この講座では、青森県で暮らす外国人の方と日本語で意思疎通ができるようになることや、お互いが安心して暮らせる地域づくりなどについて学びます。

修了後は、日本語パートナーとして当機構に登録され、交流型日本語教室等で学習者の学びを支援します。

申込
QRコード▶



定員に達し次第
受付終了

1 日 目	10/12 (日)	9：30～ 16：30	多文化共生とは 外国人と話すためのコツ 異文化理解を深めるためには	青森県観光物産館 アスパム 9階 津軽	無 料
2 日 目	10/13 (月・祝)	9：30～ 16：30	やさしい日本語を使ってみよう (実践：交流型日本語教室)	青森県観光物産館 アスパム 5階 白鳥	
問合せ先：（公社）青森県観光国際交流機構 TEL 017-735-2221					

第4回 公開シンポジウム「地域に根差したグローバル人材の育成」

「なぜ必要？地域の日本語教室」と題して、2部構成で開催します。第1部は、青森大学客員教授の坂本正氏による基調講演とパネルディスカッション。第2部は、グローバル人材の育成を目指した教育に関する研究発表や実践報告の後、日頃から日本語教育支援に関わる皆さんの交流会を持ちます。詳細はホームページをご覧ください。

開催日時	2025年11月2日(日) 10:00~16:10 青森県観光物産館アスパム 5階「あすなろ」	無料
対象	日本語指導サポーター 地域の日本語教育に携わる方 ※60名程度（オンライン&対面）	
申込方法	URL ▶ https://forms.gle/iEP3rBvsUc1tqiqi6	

第4回 公開シンポジウム
地域に根差したグローバル人材の育成
なぜ必要？地域の日本語教室

日時：令和7年11月2日(日) 10:00~16:10
場所：青森県観光物産館(アスパム) 5階「あすなろ」
対象：青森県日本語指導サポーター・日本語パートナーの方、地域の日本語教育に関わっている方 無料
定員：60名程度(オンライン&対面)

第1部 10:10~12:10
【基調講演】坂本 正氏（青森大学客員教授、南山大学・青森県国際語大学名誉教授）
「使える」日本語を教えるために -日本語教育文法を捉え直す-
学習者が日本語で対話する力としての運用能力を身につけるためには、どのような日本語表現を学ぶ必要があるのでしょうか。これからの日本語教育で「伝えたいからやろう」と思っている方も、日本語表現を学ぶに迷う観点から考え、日本の実情を学習者の観点から捉え直します。

【パネルディスカッション報告】
やぶら、青森県、山形県、秋田県等の4都府県から、青森県における交流型日本語教室と人材育成に関する課題を共有し、解決に向けて話し合いを行います。

第2部 13:00~16:10
【研究発表・実践報告】
グローバル人材の育成を担った教育に関する研究発表、青森県内で日本語教室や子どもの日本語支援、国際交流活動などで活躍中の方々の取り組みに関する実践報告を行います。

【交流会】お話を聴いた後、青森県内で支援に関わっている方々と自由に交流します。

【お申込み】 申込フォームまたは下記URLからお申込み下さい
<https://forms.gle/iEP3rBvsUc1tqiqi6>

【お問合せ】（公社）青森県観光国際交流機構
国際交流グループ 連絡先 017-735-2221
※なお、会場に限りがあるため、お申込みは、青森県日本語指導センターへ、お断りいただきます。（電話代表 017-738-2001）

主催：公益社団法人青森県観光国際交流機構 共催：青森大学

ワンストップ相談会（八戸市）

出入国在留管理局、青森労働局、弁護士、行政書士、社会保険労務士などの専門家が集まって相談対応する、外国人のための無料相談会です。複雑だったり、深刻な困りごとについて、丁寧にアドバイスします。事前の予約が必要です。通訳も対応可能です。あなたの周りの外国人で、お仕事のこと、家族のことなどで悩みを抱えている方がいたら、教えてあげてください。

◆ 2025年9月28日(日) 13:00~16:00

八戸市公民館（SG GROUPホール はちのへ） ※事前予約制

申込URL ▶



（次回予定）◆ 2025年11月30日(日) 13:00~16:00 青森市観光物産館 アスパム

子どもの呼び寄せについて、こんな相談がありました

Q. 母国から子どもを呼び寄せたいと思っている。小学校のことなどについて教えてほしい。

(相談者：フィリピン人労働者)

A. 小学校の場合、転校生扱いになるので、どの時期からの入学でも可能。お子さんを呼び寄せる時期や学校を決めたら、できるだけ早く教育委員会に入学希望であることを伝えてください。その後、日本語支援員が必要かどうかについて話し合い、入学申込書を提出します。もし入国認定されていなくても、ある程度の手続きは進められるので早めに連絡しましょう。放課後教室の利用も可能です。

外国人相談窓口について

「青森県外国人相談窓口」では、青森県内に住む外国籍の住民を対象に、日常生活での困りごとをサポートするため、相談窓口を開設しています。

また、「3者通話による通訳サービス」では、行政などの各種相談窓口、外国人住民、当機構の相談員が同時に繋がり、通訳を介して相談することもできます。19か国語で対応できます。

周囲の外国籍の方にぜひお知らせください。

◆ 相談対応曜日・時間・場所

月～金(土、日休み) 10:00～17:00
青森県観光物産館アスパム2階 国際交流ラウンジ

◆ 相談方法

対面
TEL／017-718-5147(3者通話通訳サービスを含む)
SNS／WeChat、Facebook (Messenger)
(右の二次元コードからアクセスしてください)
E-mail／lounge_supporter@aomori-kanko.or.jp

相談員がいる曜日

中国語／月～金
英語／月、火、木、金
タガログ語／月、火、木、金



WeChat



Facebook
(Messenger)

世界で異なる文化・習慣 ～ 名前 ～

※地域や宗教により異なります

子どもに変な名前を付ける風習があったのを知っていますか？タイやベトナム、日本でもアイヌ民族などは、子どもに「バナナの皮」「犬のフン」という名をつけました。これは悪霊から子どもを守るため、成長すると立派な名前を付けたそうです。

結婚後も姓が変わらない国はたくさんありますが、中国もその一つです。子どもは父親の姓を継ぐのが伝統でしたが、最近は母の姓を使う場合も多く、時代の流れと共に変化が見られます。

アイスランドには命名法、命名委員会と呼ばれるものがあり、人の命名に厳格な決まりがあります。これはアイスランドの言語と文化の保護が目的で、発音や文法に適しているかを管理しています。

ベトナムは「姓+ミドルネーム+名前」の順番です。そして国民の約4割の名字が「グエン」さんです。日本で最も多い「佐藤」さんでも1割に満たないので、驚きの多さですね。

スペインでは「名前・父(母)の姓 - 母(父)の姓」で構成され、ミドルネームを名乗ることは少ないようです。また誤解のないように父の姓と母の姓の間は「-」で繋がります。また、父母の姓の順番は本人が選ぶ事ができます。

インドネシアやミャンマーでは姓がありません。特にインドネシアではファーストネームが1～5の複数語で構成されていて、ニックネームで呼び合うことが多く、友人たちが本名を知らない事も珍しくありません。

JICA海外協力隊隊員体験談



蝦名 康恵

(平内町出身)

2023年－2025年

任地：チリ（パレドネス）

職種：観光

私は2023年から2年間、南米のチリに派遣されていました。

任地は首都サンティアゴから車で4時間ほど離れた、人口6000人の都市パレドネスです。海と山に囲まれ、塩田や湿地帯には多くの野鳥が訪れる美しく、自然豊かな地域です。

のんびりとした雰囲気の中で、雄大な自然と人々の温かさに日々支えられました。

私はパレドネス市役所の地域経済開発課という部署で、観光の可能性を探りながら、観光客へのアンケート調査を行ったり、地元の方と話し合いを重ねながら地域の魅力を掘り起こしたりしました。

また、折り紙や習字、日本の昔遊びを通して、子どもからお年寄りまで、幅広い世代と日本文化を通じた交流も行いました。

最初は言葉や文化の壁、そして人との距離感に



市役所で開催した折り紙講座。鶴や風船から季節の折り紙の作り方を紹介
(右から5番目が蝦名さん)

戸惑い、思うように進まない日々が続きました。

しかし何度も足を運び、地域の祭事の手伝いやイベントに顔を出し、諦めずに対話を重ねる中で、少しずつ心の扉が開かれていくのを感じました。

大きな成果を残せたとは言えないかもしれませんが、最後まで地域と向き合い、自分にできることをやりきったことで「人と信頼を築き、一緒に歩むこと」の重みと、「小さな一歩の積み重ね」の大切さを学びました。

遠い国チリでの明るさとおおらかな人々との出会いと学びは、私にとって大きな財産です。自然や人の温かさは日本とどこか似ている気がします。ぜひ多くの方にチリに興味を持っていただき、いつか訪れてもらえたら嬉しいです。



市役所が主催する住民向け年次報告会にて（左から2番目が蝦名さん）

★JICA海外協力隊についてのお問合せ★

連絡先：jicadpd-desk-aomoriken@jica.go.jp (JICA青森デスク 阿部)

所 在：青森県観光物産館アスパム2階グローバルラウンジ内



県内の日本語教室

各教室に関する詳しい情報は右記のQRよりご確認ください。



地域	団体名	電話番号	E-mail
青森市	青森日本語クラブ	090-2029-1218	aomori.nihongoclub2025@gmail.com
	国際文化交流クラブ (ICEC)	090-7660-1583	potlucksmore@yahoo.co.jp
	日本語学習支援「青い森」	090-3360-6541	yuyu64asayu@gmail.com
弘前市	弘前日本語クラブ	090-4049-0057	hnc1900@yahoo.co.jp
	弘前日本語ティールーム	090-5842-0672	hirosakinihongotearoom@hotmail.co.jp
	国際にほんご教育センター (IJEC)	0172-40-0042	i.nihongo.e.c@ijec.jp
	ひろだいま文化リソースルーム	0172-30-9145	info@hirodaimrr.or.jp
中泊町	中泊町文化観光交流協会	0173-57-9030	nctea.jimu01@gmail.com
八戸市	みちのく国際日本語教育センター (MIJEC)	080-6051-3109 080-6026-3109	michinokunihongo@gmail.com
三沢市	みさわ国際交流協会	080-6022-1349	misawa.mia@outlook.jp
六ヶ所村	国際教育研修センター	0175-73-8575	rokkasho.lounge@gmail.com
南部町	南部町国際交流センター	0178-38-5961	noson@town.aomori-nanbu.lg.jp

国際交流ラウンジ International Lounge

〒030-0803

青森市安方1-1-40 青森県観光物産館アスパム2F
ASPAM BLDG. 2F. 1-1-40. Yasukata, Aomori-shi.
030-0803

TEL : 017-718-5147 FAX : 017-735-2067

E-mail : lounge_supporter@aomori-kanko.or.jp

※国際交流ラウンジカウンター／外国人相談窓口

受付時間／10:00～17:00

休日／毎週土曜日・日曜日

年末年始 (12/31～1/3)

編集・発行 Publisher

公益社団法人青森県観光国際交流機構
国際交流グループ

〒030-0803 青森市安方1-1-40 青森県観光物産館アスパム8F

TEL / 017-735-2221 FAX / 017-735-2067

E-mail : info_kokusaikoryu@aomori-kanko.or.jp



Instagram



HP



Facebook